



2023年5月8日

各 位

会 社 名 株式会社アイロムグループ  
代表者名 代表取締役社長 森 豊隆  
(コード番号 2372 東証プライム)  
問合せ先  
役 職 取締役 CEOオフィスセンター担当  
氏 名 小島 修一  
電 話 03-3264-3148

## 当社子会社によるJanssen Biotech社との iPS細胞作製技術を用いた製品開発および販売に関する ライセンス契約締結のお知らせ

当社の100%子会社である株式会社IDファーマ（以下、「IDファーマ」という）は、Janssen Biotech, Inc.（以下、「ヤンセン」という）と、IDファーマのiPS細胞作製キット「CytoTune®-iPS」（※1）により作製されたiPS細胞やそのiPS細胞由来の分化細胞を用いた、オンコロジー領域の細胞治療製品の開発および販売に関する特許実施許諾契約を5月5日付で締結いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

尚、本契約はJohnson & Johnson Innovation LLC.を主体に締結が進められております。

### 記

#### 1. 契約の概要

IDファーマは、ヤンセンに対して、CytoTune®-iPSを用いたiPS細胞およびそのiPS細胞から分化させた細胞の作製、それらの細胞を用いた、オンコロジー領域の細胞治療製品の研究開発、製造および販売等について、全世界を対象とする非独占的な権利を許諾します。

IDファーマは本契約に基づいて、契約および開発に応じたロイヤリティを受け取ります。これらは、将来の当社グループの業績に大きく寄与する可能性があるものです。

#### 2. 契約の意義

CytoTune®-iPSに用いられているIDファーマの基盤技術であるセンダイウイルスベクターは、その安全性や細胞への導入効率性等を中心とした特長から、細胞治療・遺伝子治療・遺伝子ワクチン等、幅広い分野での研究開発が進んでいます。

IDファーマは、本契約のようにCytoTune®-iPSを活用したiPS細胞等の作製およびその商用利用を許諾するライセンス契約締結を推進し、基盤技術であるセンダイウイルスベクターを用いた新たな事業機会を創出できるものと考えております。

### 3. 上場会社と当該契約先との間の関係

資本関係	該当事項はありません。
人的関係	該当事項はありません。
取引関係	ID ファーマが本契約とは別の特許実施許諾契約を締結しています。
関係当事者への該当状況	該当事項はありません。

### 4. 今後の見通し

本契約締結による契約一時金および初年度の年間使用料は契約締結時に受領いたしますが、東京証券取引所が定める軽微基準に該当する金額であり、これらの費用は2023年3月期決算発表時に公表予定の2024年3月期連結業績予想数値に織り込んで開示いたします。来期以降（2025年3月期以降）の業績に与える影響につきましては、各期の連結業績予想数値に織り込んで開示いたします。

#### ※1. iPS細胞作製キット「CytoTune®-iPS」について

CytoTune®-iPSは、京都大学の山中伸弥教授のiPS細胞作製技術と、IDファーマのセンダイウイルスベクター技術を融合させて開発したiPS細胞作製キットです。本キットを用いることにより、一回のベクターの使用で体細胞からiPS細胞を効率よく誘導することができます。特にヒトに大きな苦痛を与えずに採取できる末梢血・血液細胞からの効率的な誘導が可能であり、他の方法と比べて優れた性能を有しています。

本キットを用いて作製されたiPS細胞は、元の細胞の染色体上の遺伝子配列を無傷にそのまま維持しており、また、iPS細胞誘導に用いたベクターが細胞から素早く消失されるよう改良されているため、国内外の研究者から高い評価を受けています。

以 上